

教科等研究会（小学校生活・総合的な学習部会） 平成28年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

豊かな体験に支えられ 学びをつなぎ 学びを深める子どもの育成
～児童児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	内容	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
五月二十六日（木）	二十四人	甲佐小学校	八月十六日（火）	山都町	理論研究会 農業体験研修	十月十八日（火）	嘉島中学校	嘉島中 一年部 福永 ひとみ 教諭	一月二十七日（金）	七滝中央小学校	七滝中央小 一年担任 池上 幸 教諭

3 研究の概要

(1) 研究の内容

平成25年度に熊本県小学校生活科・総合的な学習の時間研究大会を上益城郡で開催して以来、その研究をより深めてきた。新たに会員となった先生方にも、研究の成果を広めていくために、これまでの研究の成果と課題を考慮しながら研究テーマ等を設定し、研究を進めてきた。さらに、上益城郡教科等研究会全体テーマを受け、「児童一人ひとりが輝く授業づくり」をサブテーマに掲げ、研究を行ってきた。また、近年の研究の流れも取り入れていくために、夏季休業中に理論研究会も実施した。

① 研究主題について

○「豊かな体験」とは

子どもたちの中に感動や葛藤が生じ、知的好奇心を高め、探究的な学習へつなぐことができる体験

○「学びをつなぐ」とは

子どもが「探究的」「横断的・総合的」「協同的」な学習を発展的に繰り返し、気付きの質を高めたり、思考を広げたり深めたりしていくこと

○「学びを深める」とは

自分のよさや成長が分かり、学習したことを自分の生活や生き方に生かし、社会の中での自分を見つめ、主体的に行動していこうとすること

② 研究の視点について

研究の視点1 探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫
研究の視点2 気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実
研究の視点3 子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫

(2) 成果と課題

年間反省のアンケートより（○成果 ●課題）

- 研究を深めるために、とても適したテーマだと思った。
- 研究授業では、児童が意欲的に学習に取り組んでいた。学習のゴールがはっきりと示されていた。体験活動から感じたことを歌にまとめるという言語活動が児童の実態とも合っていて、意欲が継続されていた。また、今の地域の状況に柔軟に対応した年間計画の変更、学習計画の作成が成されていることも大変参考になった。
- 体験研修は生産者の農業に対する思いや努力を知り、貴重な学びの場となった。児童の学習の中にもこのような学習の場を設定すると学びが深まると感じた。生活科や総合的な学習の時間の栽培体験にも研修で学んだことを活かしていきたい。
- 中学校の総合的な学習の時間の参観は、有意義な参観となった。小学校の段階で身に付けておくべきことも、参観しながら考えることができた。
- 理論研究会・実践発表会では、総合的な学習の時間の実践において、思考ツールの活用法やグループで思考を広げていく有用感等学ぶことができた。また、生活科においては、評価基準を児童の姿として準備しておくことの大切さを学んだ。
- 今年度は大震災を経験した。今しかできない学びがある。それに応じた年間指導計画を作成する必要がある。地域に足を運び、復興の姿をとらえ、児童に何ができるのかを考えさせ、柔軟な実践につなげていく地域学習が求められている。
- 気付きや考えを交流する言語活動の場面では、活動のゴールを明確にし、児童の意欲を喚起し、継続させていかねばならない。どのようなゴールを設定し、言語活動の場でどのような仕掛けをするか、授業計画を練っていく必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

第1学年 生活科 単元「どきどき わくわく まちたんけん パートⅠ」

授業者 池上 幸 教諭（御船町七滝中央小学校）

① 研究の視点にそった授業づくり

研究の視点1「探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫」

- ・「みんなに知らせたい、とっておきの人、場所、もの」というテーマを設定し、自分の住んでいる所を紹介し合うことで、探検への意欲と課題意識が生まれるであろう。
- ・探検を中心とした体験活動で得たことを「歌にする」という目的を持つことで、体験活動がさらに深まり、豊かな体験となるであろう。

研究の視点2「気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実」

- ・「探検日記」と題して観察記録を書くことで、探検での活動を整理する。
- ・歌にする活動は、記録に残していることを見直したり、調べ直したり、深く考え交流する場となるだろう。

研究の視点3「子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫」

- ・「探検日記」は、書いた後に児童がお互いに発表し合ったり見せ合ったりして交流をする。
- ・他県の1年生に知らせるという目的を持つことで、地域に親しみや愛着がわくような深い学びとなるであろう。

② 授業研究会

○自評から

- ・「セルフ（個人）」→「チーム（班活動）」→「オール（全体）」という流れの中で、児童の思いを言語化できた。終末で歌にするという活動で、児童の意欲を喚起、継続できた。
- ・児童の思いを言語化していく過程で、一人ひとりの思いが全て歌詞に反映できたかという

疑問はあったが、全てのカードを歌詞としてまとめられたのでよかった。

○質疑応答・協議から

- ・班での話し合い活動は、お互いが書いたものを読み合って感想を返すということから始め、今回では意見を集約することもできるようになってきた。
- ・児童の思いや気付きをまとめていくために、児童の実態にあった活動が選ばれていた。また、いろいろな場所で歌い、感謝され、児童の自尊感情や意欲も高められる活動であった。

○指導助言から

- ・児童の歌う姿に見られたように、意欲の高まった授業であった。言語活動の中で、児童が意見を主張し合う場面もあり、指導者の手立てが効を奏し、児童の意欲が継続していた。
- ・地域学習では、人、場所、もの、行事等、地域をよく知ることが大切である。児童の思いや願いを活動につなぎ、地域に親しみや愛着を持たせていくのに、振り返りと表現させることが大切であり、今回の授業では、ていねいな学習計画ができていた。
- ・マナー、安全面の指導も、指導計画に位置付けてあった。

(2) 学習指導案

① 単元の目標

- 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所に関心を持ち、親しみや愛着をもって、人々と適切に接したり安全に生活したりしようとする。
- 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所との関わり、人々と適切に接することと安全に生活することについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、それを工夫して表現する。
- 自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わりを持っていることが分かり、地域のよさに気付く。

② 単元の評価規準

A 生活への関心・意欲・態度	B 活動や体験についての思考・表現	C 身近な環境や自分自身についての気づき
地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所に関心を持ち、親しみや愛着を持って、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとする。	地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所との関わり、人々と適切に接することや安全に生活することについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、それを工夫して表現する。	自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わりを持っていることが分かり、地域のよさに気付く。
①地域の人々や様々な場所に関心をもって関わろうとしている。 ②地域の人々の様子や様々な場所について、見たり、調べたりしようとしている。 ③地域の一員として、マナーや安全に気をつけて活動しようとしている。 ④地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、繰り返し関わろうとしている。	①行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを決めている。 ②相手や場に応じた行動について考え、活動の計画を立てたり、約束を決めたりしている。 ③その場所の状況を捉え、危険などについて考え、予測している。 ④好きになった場所や親しくなった人々などのことを振り返り、自分なりの方法で表し、友だちや地域の人々などに知らせている。	①地域には様々な場所があり、そこには幼児や高齢者、障害のある人など様々な人が生活していることに気付いている。 ②地域には様々な仕事があり、それらの仕事に携わっている人がいることに気付いている。 ③地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が、自分たちの生活を支えていることに気付いている。 ④親しみや愛着のある場所が増えたり、人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。

③ 本時の学習

ア 本時の目標

「たんけんにつき」から、歌詞にしたい言葉を選んで、「大すき！わたしたちのまち」の歌

を協力して完成させる。

イ 本時の展開

過程 (分)	学習活動	教師の指導・支援及び指導上の工夫 (○発問、指示 ・指導上の留意点 ☆評価)	備考
つかむ (5)	1. 本時のめあてを知る。	○「大すき！わたしたちのまち」を完成させます。 ・今まで作ってきた歌の歌詞と探検の様子を撮った写真を掲示しておく。 「大すき！わたしたちのまち」をかんせいさせよう。	歌詞 写真 (掲示しておく)
もとめる (10)	2. 歌詞にしたい言葉を考える。 (セルフ→チーム)	○どんな言葉を歌詞にしたいですか。 ○「たんけんにつき」に書いたことをもとにして、言葉を選びましょう。 	見本の カード (青) 児童用の カード (白)
ふかめる (20)	3. 歌詞をみんなで話し合って決める。(オール)	○なぜ、この言葉を選びましたか。  「〇〇くんちに行きたい。」がいいです。行って、いっしょにあそびたいからです。 ○「かせつじゅうたく」はありますか。 ☆ (B④) 探検日記に書いたことをもとに、歌詞を考えている。(観察、発言、カード) 	カード
まとめる (10)	4. できあがった歌を歌って、感想を交流する。	 「仮設住宅、たのしいな じいちゃん、ばあちゃん、 わかもの、子どもたち、・・・」  ○お友だちと話し合っ て、がんばって歌詞が作 れましたか？	ピアノ